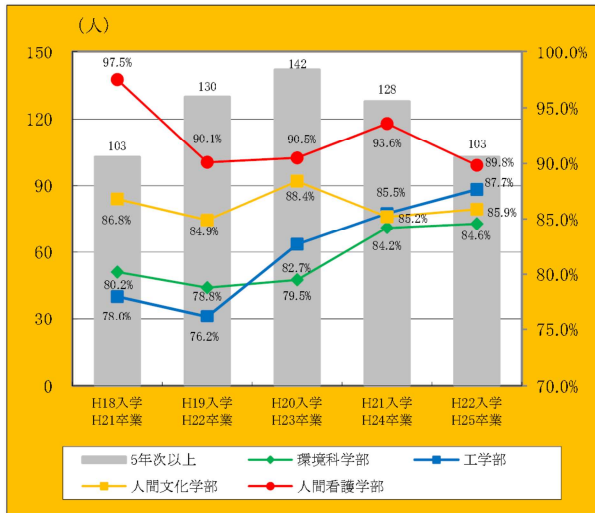


## 5. 卒業・休学・退学

- 修業年限での卒業率は86.3%、5年以上の在学学生は減少
- 休学率は2.1%で前年度より低下

### 5-1 修業年限における卒業率と修業年限を超えて在学する学生数（学部別）



修業年限（1年）での卒業率は、平成25年度卒業対象者で86.3%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇した。

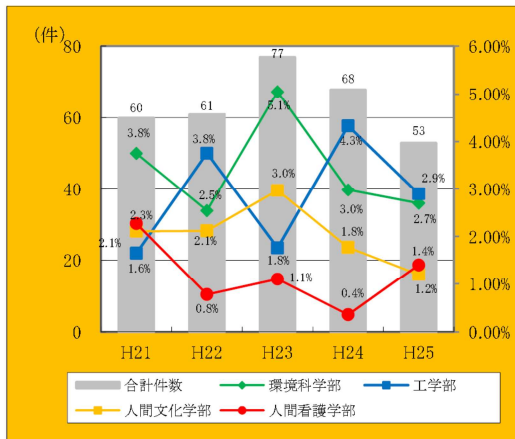
学部別に見ると、環境科学部、工学部、人間文化学部は上昇したが、人間看護学部は減少した。

また、4年を超えて在学する学生の数は、前年度に引き続き、減少した。

※（卒業率＝修業年限での卒業者数／（入学者数＋3年次編入者数））

※ 棒グラフは、修業年限を超えて在学する学生数（5月1日時点）を表す。

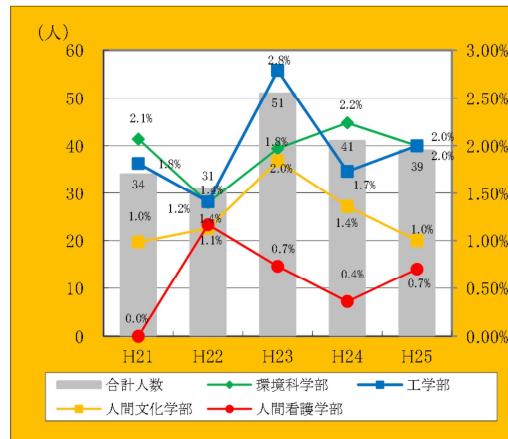
### 5-2 休学率（学部別）



※（休学率＝当該年度に承認された休学件数／年度当初の学生数）

平成25年度の休学率は、年間53件、全学生数の2.1%で前年度に比べ0.6ポイント低下している。すべての学科で3%を下回った。

### 5-3 退学率（学部別）



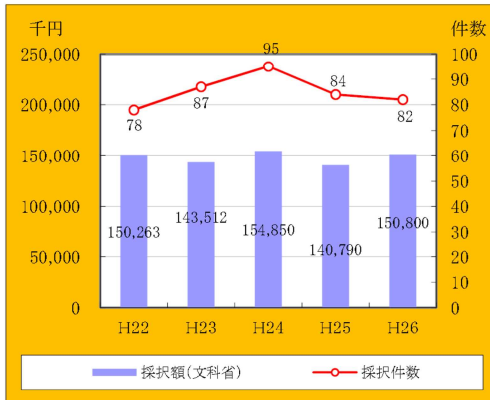
※（退学率＝当該年度に承認された退学者・除籍者数／年度当初の学生数）

平成25年度の退学率は、年間39人、全学生数の1.6%で前年度とはほぼ同水準となった。

## 6. 研究 - 科学研究費助成事業 -

- 新規採択率は23.8%、採択件数は82件、採択金額は約1億5千万円
- 教員1人あたりの申請数は0.75件、採択数は0.41件

### 6-1 採択件数と採択金額



※ 各年度の確正值

平成26年度の採択件数は前年度に比べ2件減少したが、獲得金額では10,010千円増加した。

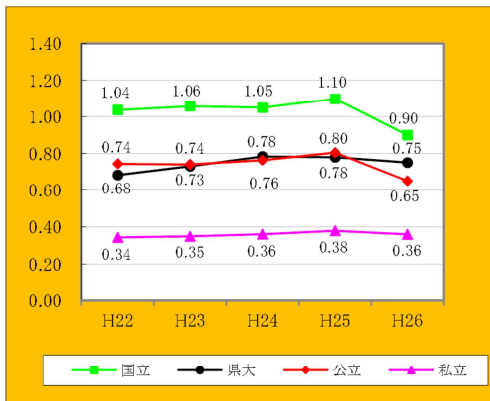
### 6-2 平成26年度の採択状況(新規+継続)

#### 公立大学 採択件数上位20機関の状況

機関名	新規+継続		備考	
	採択件数	配分額	新規件数	新規採択率
1 大阪市立大学	403	1,109,550	132	25.6%
2 首都大学東京	397	1,152,519	142	30.4%
3 大阪府立大学	393	1,048,320	150	28.2%
4 名古屋市立大学	355	730,080	125	29.6%
5 横浜市立大学	336	899,980	126	24.5%
6 京都府立医科大学	290	602,940	129	30.8%
7 兵庫県立大学	256	613,860	89	23.3%
8 札幌医科大学	224	427,700	81	27.6%
9 和歌山県立医科大学	194	339,950	71	24.7%
10 奈良県立医科大学	182	332,150	71	28.9%
11 福島県立医科大学	160	333,710	65	19.6%
12 静岡県立大学	139	327,860	53	31.5%
13 県立広島大学	105	122,980	37	22.0%
14 愛知県立大学	91	142,480	32	29.6%
15 滋賀県立大学	82	150,800	25	23.8%
16 秋田県立大学	81	190,710	25	16.0%
17 九州歯科大学	81	158,470	26	43.3%
18 京都府立大学	77	176,020	24	20.7%
19 広島市立大学	66	115,570	19	22.9%
20 埼玉県立大学	65	100,620	25	22.3%

※ 出所：文部科学省報道発表資料  
 ※ 研究費配分率を除外。

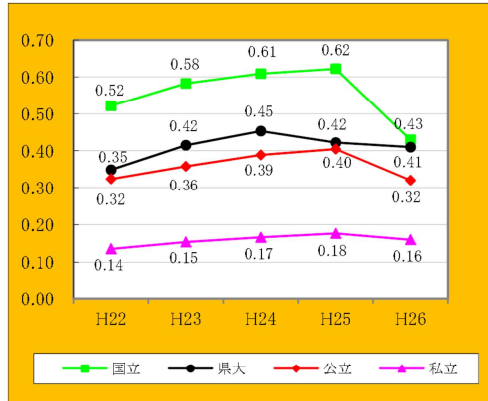
### 6-3 教員1人あたりの申請数(新規+継続)



※ 出所：文部科学省報道発表資料  
 ※ 厚労科研究費を除く。

教員1人あたりの申請数は、0.75件で昨年度より減少した。なお、文部科学省の公表数値は、今年度から分母が教員数から研究者登録数に変更されたため、単純比較はできないことに留意する必要がある。

### 6-4 教員1人あたりの採択数(新規+継続)



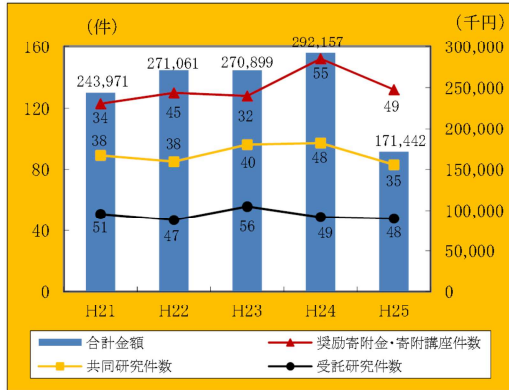
※ 出所：文部科学省報道発表資料(科研究費配分率確値)  
 ※ 厚労科研究費を除く。

教員1人あたりの採択数は、前年なみとなった。なお、文部科学省の公表数値は、今年度から分母が教員数から研究者登録数に変更されたため、単純比較はできないことに留意する必要がある。

## 7. 産学連携

- 受託・共同研究、奨励寄附金等の件数は132件、金額は約1億7千万円
- 受託研究および共同研究は、前年度に比べ減少した。

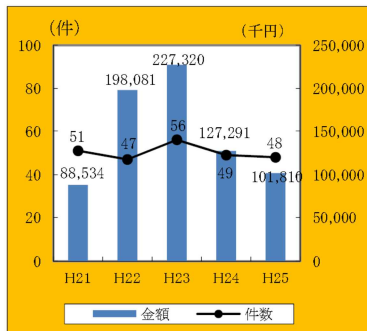
### 7-1 受託研究、共同研究、奨励寄附金等の合計（件数・金額）



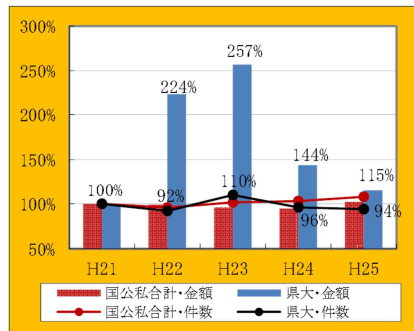
平成25年度の受託研究、共同研究および奨励寄附金は、いずれも件数が減少した。総額では、前年度の寄付講座寄附金（ガラス製造プロセス工学講座、3年分1億円）の反動で大きく減少した。

なお、外部資金の獲得状況については、P.10に記載している。

### 7-2 本学の受託研究



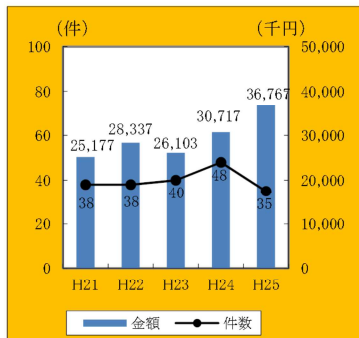
### 7-3 受託研究の全国比較



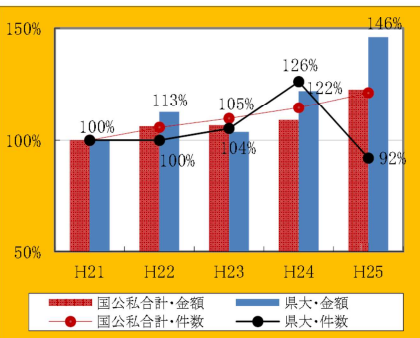
平成25年度の受託研究については、前年度と比べ件数は同程度であったが金額は約20%減少した。

※ 出所：文部科学省報道発表資料（産学連携等実施状況調査）  
 ※ パーセントの数値は本学のもの

### 7-4 本学の共同研究



### 7-5 共同研究の全国比較



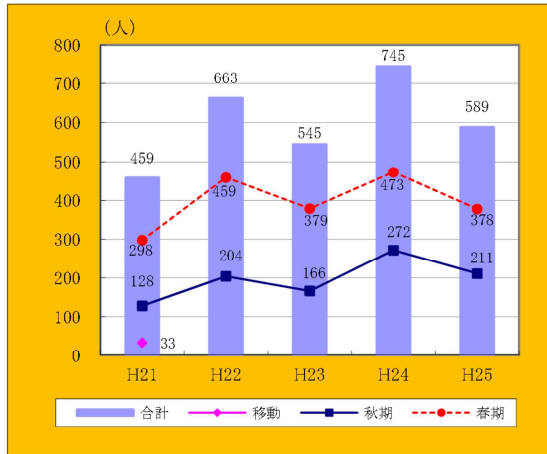
平成25年度の共同研究については、前年度に比べ件数は約27%減少したが、金額では約20%増加した。

※ 出所：文部科学省報道発表資料（産学連携等実施状況調査）  
 ※ パーセントの数値は本学のもの

## 8. 生涯学習への貢献等

### ○ 公開講座の受講者数は589名、受講者満足度は82.5%

#### 8-1 公開講座の参加状況



※ 県下各地域を巡回して行う移動公開講座は、平成21年度で事業を終了

公開講座は、開学翌年度の平成8年度から開催しており、平成19年度からは有料化（受講者から受講料を徴収）している。有料化後、受講者数は講座テーマ等により大きく変動している。

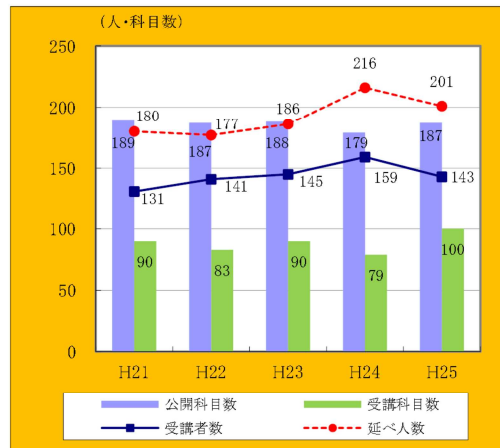
なお、平成21年度の春期は、インフルエンザの流行により開催回数が例年より1回少ない。

平成25年度は前年度に比べ、受講者総数が減少した。

#### 8-2 公開講座の参加者の満足度

H21	H22	H23	H24	H25
83.3%	84.6%	84.3%	82.3%	82.5%

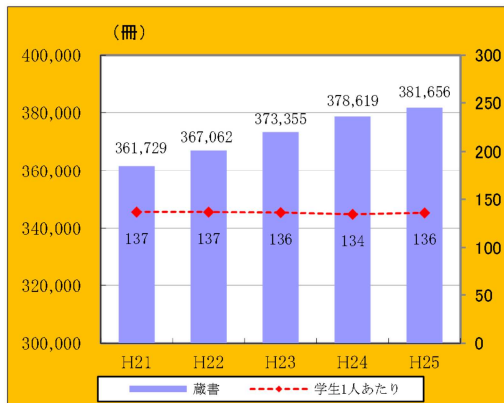
#### 8-3 公開講義の開催状況



公開講義は、地域の人々に対して、学習の機会を提供することを目的に本学の講義を公開している。

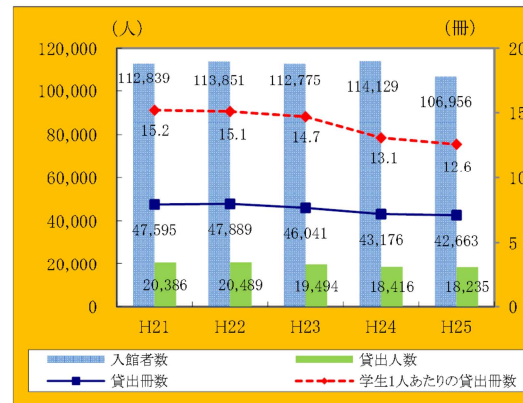
公開科目数に大きな変動はないが、平成25年度は受講者数および延べ人数はやや減少した。

#### 8-4 図書蔵書数



蔵書数は増加しているが、学生1人あたりの蔵書数は横ばいである。

#### 8-5 図書館入館者数および貸出状況

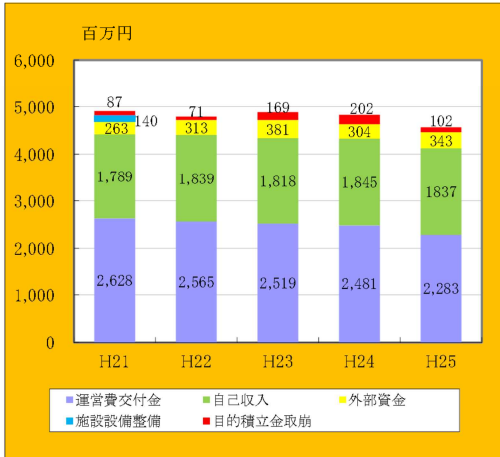


図書館入館者数は、漸減状態にある。学生1人あたりの貸出冊数も平成21年度以降下降している。

## 9. 財政の状況

- 平成21年度以降、運営費交付金は毎年度2～6%減少
- 教育経費のうち恒常的経費（教務費、就職対策費等）は増加

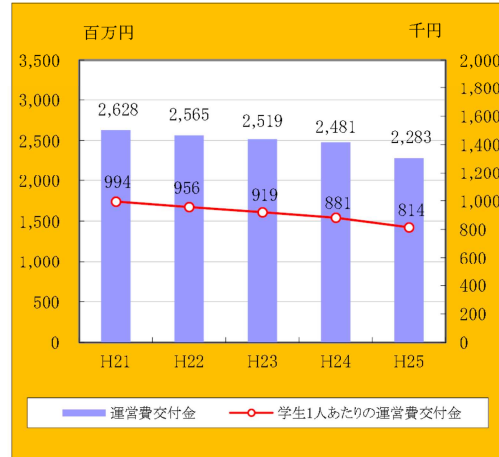
### 9-1 収入の状況



※ 各年度決算報告書

収入額からみる本学の年間事業費は、およそ47億円程度であり、入学金や授業料等の自己収入は増加しているが、全体は減少傾向にある。

### 9-2 運営費交付金の状況

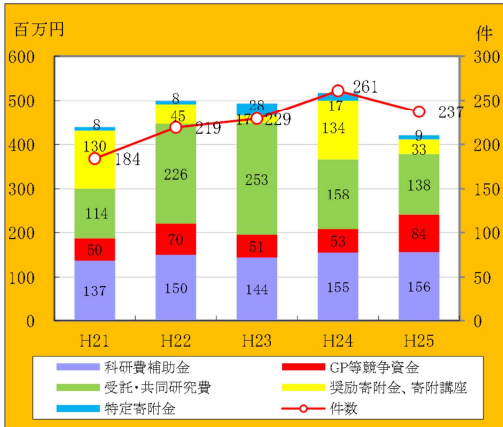


※ 各年度決算報告書

※ 学生数は、学校基本調査（毎年5月1日現在）による。

運営費交付金は、平成21年度以降、毎年度2～6%減少している。また、学生1人あたりの運営費交付金額は、81万円となり、平成21年度に比べ、約18%（20万円）減少した。

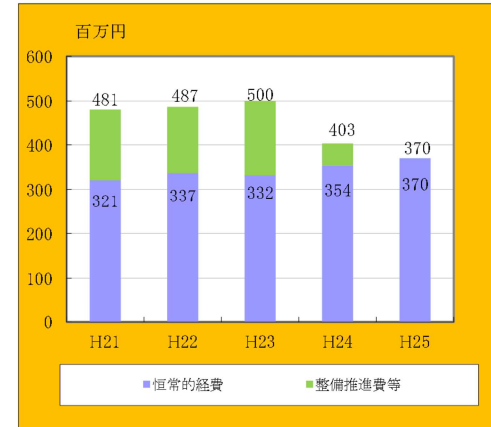
### 9-3 外部資金の獲得状況



※ 科研費補助金の直接経費等を含む獲得状況

外部資金の獲得状況については、平成20年度以降増加傾向にあったが、平成25年度は受託・共同研究費の減少と前年度の寄附講座（ガラス製造プロセス工学講座）分（1億円）の反動で大きく減少した。

### 9-4 教育経費の状況



※ 各年度決算

教育経費は、大きな変動はなく一定額で推移していたが、平成24年度以降は人間化学部国際コミュニケーション学科および工学研究科電子システム専攻の開設に伴う学生数の増加により恒常的経費（教務費、厚生補導費、就職対策費、学部等教育推進費など）が増加している。